

令和 7 年 8 月定例記者会見要旨

開催時間 令和 7 年 8 月 19 日（火）午前 10 時 30 分 302 会議室

（総務部長）

皆さんこんにちは。常日頃より大変ありがとうございます。8 月の定例記者会見を始めます。よろしくお願いします。

（市長）

○諏訪湖祭湖上花火大会について

諏訪市にとって一番のイベントである諏訪湖祭湖上花火大会が、無事終了しました。メディアの皆さんにも、それぞれご協力をいただき、報道等も大きく扱っていただいたり、情報共有をしていただいたりするなど、大変お世話になりました。概況について、若干触れておきたいと思います。

事故が多発している昨今の花火事情の中で、とりわけ我々実行委員会としましても、慎重に、事故を起こさないようにということで、ぎりぎりまで情報共有をしたり、皆で気持ちを引き締めて取り組んできたわけですが、大きなトラブルや事故もなく、無事に終了することができ、本当に皆さんのご協力のおかげであると感謝をしています。

天候も、向かい風ではありましたが、適度な風がありまして、花火自体は大変きれいに見えたと好評をいただきました。それから、フードコートにもぎわっていただき、新たに間欠泉センターに設けた、地元賑わいエリアも大変盛況で、エリアをセットしたかいがあったと思っています。それから、開幕の時にはちょっとお待たせをし、ご心配をおかけしましたが、それについては、原因を調査中です。反省会にて確認をする予定です。

ただ、Y o u T u b e 配信などで励ましのコメントをいただいたり、客席との一体感の中でスタートできたことは、不幸中の幸いとして受けとめています。また、環境関係では翌日 8 月 16 日の早朝 6 時から、1 時間の恒例のボランティアによる清掃を行い、300 数十人という大勢の皆さんに参加をしていただきました。湖畔の芝生が見事にきれいなグリーンの芝生に戻り、大変うれしく思いました。ご協力に心から感謝いたします。それから交通部に関しましても、大きなトラブルは報告されませんでした。昨年、臨時駐車場の開場時間を遅らせていますが、順調に入庫していただきました。アキッパを利用した形が順調に機能していると判断しています。それから、例年よりも人出が多かったように思いますが、スマートインターチェンジの効果でしょうか、大会後の混雑が分散されていたように感じられましたし、ほぼ予定どおり規制解除を行うことができました。スマートインターチェンジの効果につきましては、交通部からの状況報告を受けた上で、また改めて報告しますが、長野市にお住まいの方が、11 時には長野の家についていたという例もあったようです。警備部は、暑い日でありましたから、具合が悪くなる方もいらっしゃったんですが、医療機関や消防団等の関係の皆さんのご協力によって、適切に対処していただきました。ごみの関係については、8 月 16 日にプレスリリースをしていますが、ごみの持ち帰りの習慣が定着をしてきており、臨時ごみステーションの設置を必要最小限とし、コロナ後は再開前のステーションの数 27 ヶ所を 4 ヶ所に集約しています。今年の収集量は 3.24t で、昨年より 0.6t 減少し、前年対比では 83%でした。花火大会終了後に点在していたごみも、ボランティアの皆さんの清掃のおかげで、元のきれいな状態に戻り、大変嬉しく思いました。こうした市民の皆さんやボランティアの皆さんのご協力がある、これも諏訪湖祭湖上花火大会の特徴だと思っており、本当に市民の皆さんやボランティアの皆さんと一体となって運営している花火大会に育ってきていることを大変嬉しく思っています。

○9月度のスケジュールについて説明について
それでは、9月度のスケジュールについて説明をします。

○2025 諏訪市長杯霧ヶ峰ドッグスポーツフェスティバルについて
9月6日、7日に、2025 諏訪市長杯霧ヶ峰ドッグスポーツフェスティバルが霧ヶ峰において開催されます。

9月6日（追求1, 2・追求3の4回戦まで・選別1・選別2の1回戦）

9月7日（追求3の決勝戦・選別2の2回戦, 決勝戦・服従）

とても楽しみに来てくださる方がおりまして、夏の霧ヶ峰の一つの代表的なイベントとなっています。

○全国新作花火チャレンジカップ 2025

続きまして、全国新作花火チャレンジカップ 2025のご案内です。

この大会は、6年ぶりの復活を遂げ、花火競技としては全国初となるトーナメント方式を採用しています。一発の花火に技術と創造力がぶつかり合う、かつてない挑戦の舞台となります。未来の花火文化を切り拓く、新たな表現の数々を心ゆくまでお楽しみください。

9月6日、13日は午後8時30分から、9月20日、27日は午後6時30分からで、最終フィナーレの10月26日は午後5時30分からです。たくさんの方の観覧をお待ち申し上げます。また、この大会も、多くのご支援をいただいている皆さん、スポンサーの皆さんのご協力によって成り立っています。この場で、この大会が復活できましたことを心から感謝申し上げます。

○敬老祝賀訪問について

9月10日に、敬老祝賀訪問を実施します。

午前中に、理事者が手分けをいたしまして、担当課職員と一緒に訪問をします。

最高齢者2人、男性女性1人ずつ。

男性が102歳。

女性は107歳。

これはいずれも、令和7年9月15日時点での年齢ということになりますけれども、2人には祝い品と、祝い状及び賞状、これは内閣総理大臣とか、県知事などから預かったものも含めてお渡しをする予定です。

本年度からの変更点は以下のとおり。

令和6年度まで

最高齢(男女)	カタログギフト（1万円相当） 祝状及び額
100歳	諏訪5歳の日本酒・りんごジュース詰め合わせ 祝状及び賞状筒
99歳	2万円祝状及び額
88歳	1万円

令和7年度

最高齢(男女)	カタログギフト（1万円相当） 祝状及び額
100歳	2万円（経過措置としてR7年度の支給なし） 祝状及び賞状筒
99歳	無し
88歳	メッセージカード

次は、9月13日土曜日になります。

○諏訪市の農業祭、JA信州諏訪農業祭について

諏訪市の第25回農業祭と、第21回JA信州諏訪農業祭の共同開催になります。

テーマは、昨年同様「地産地消 ともにいかそう諏訪の農産物」で、午前8時半から午後1時、開催場所は、諏訪市公民館と公民館別館、そして、諏訪湖イベントひろばの駐車場の一部で開

催いたします。

公民館別館のステージでは、豊田小学校の合唱、四賀、中洲小学校の合同の合唱が披露され、アンパンマンショーを2回開催します。

そして公民館の駐車場では、アルパカふれあい体験や金魚すくい、農産物等の販売や展示等があります。諏訪の農産物、それから農家の皆さんのご努力やご苦労を感じながら、収穫物をお買い求めください。

J Aの関係でもありますけれども、諏訪市の果樹組合さん、それから諏訪の後山ブランド化プロジェクト。はちみつであったり、特産物を出していただきます。それから、諏訪園芸振興協議会の皆さんは、花を使った工作のワークショップを今年もやってくださると伺っております。大勢の皆さんに、今年も来ていただきたいと思います。

○月間のスケジュールについて

5日 公共交通活性化協議会

10日 統計グラフコンクール

20日 神話の縁結び かみがたりネットワークの総会

月の後半には、いくつかの一部事務組合の定例会が、行われます。

諏訪湖祭湖上花火大会の表彰式は、26日に行われます。

姉妹都市の秦野市、たばこ祭りには副市長が参加します。

教育委員会の関係は、お手元に配布をさせていただきました。

毎年、原田泰治美術館では特別展を行っておりますが、今年は、原田泰治美術館 秋季企画展 金澤翔子展～小さき花～を開催します。

生れてすぐにダウン症と診断された金澤翔子さんは、5歳から書家である母・金澤泰子さんに師事して書道を始めました。障がい児やその家族に対する手当や対応がより確立されてきた昨今の状況とは違い、翔子さんの幼少期には、乗り越えなければならない様々な困難にご両親は直面してきたそうです。そんな状況の中、翔子さん10歳の頃に、泰子さん・翔子さん母娘は家にこもり一緒に般若心経を8ヶ月間にわたって書き続けたのです。この経験が翔子さんにとっては書家としての基礎となり、また泰子さんにとっては翔子さんの愛情の深さに気づかされる日々でもあったそうです。20歳で初の個展を開催すると多くのメディアに注目されるようになり、いよいよ書家として羽ばたくことになります。その後の活躍は目覚ましく、国内外での個展は500回以上を数え、2012年のNHK大河ドラマ『平清盛』の題字揮毫や、東京2020オリンピック公式アートポスターの制作など精力的に活動を行っています。

一方で、ご自身の宣言どおり30歳のときには一人暮らしを始めてお母様から独立し、40歳を過ぎた現在は、東京都大田区に念願だった喫茶店をオープンさせ、ご自身もウェイトレスとして地域の皆さんと一緒に共生社会を実現されています。本展では、翔子さんを象徴する愛に満ちた作品等を展示し、観る人の心に訴えかけます。同様に障がいがありながらも全国各地を自身で巡って描き続けた画家・原田泰治さんの名前を冠した当館ならではの、心温まる世界をご堪能ください。教育委員会の行事予定表もお配りしましたので、取材方よろしくお願いします。

(総務部長)

こちらからの説明以上です。

○ドックススポーツフェスティバルについて

(記者)

ドックススポーツフェスティバルは、エントリー制ですか。

(市長)
エントリー制です。

○諏訪湖祭湖上花火大会について
(記者)

全国的に花火大会の開催について注目がされているが、安全、安心、事故なく無事終えられたことの受けとめと、課題があればお願いします。

(市長)
危機管理意識においては、実行委員会や最高責任者会議などで申し合わせ、事故防止対策、事故発生時の対応、ライフジャケットの着用、レスキュー対策など、十分に確認をしました。前日の玉込め作業等の確認時には、事故防止を強調し、細心の注意を払っての実施をお願いしました。無事に終わったことにほっとしていることと、関係各位のご協力に心から感謝しています。スタートの点火のハプニングでは、心配をおかけしました。安全上のことではないので、経験として生かしたい。花火大会終了後の公共交通機関の時刻も決まっていますので、時間内に終了することができたことに安心をしました。

○富士見町長選挙について
(記者)

先日の富士見町の町長選で、渡辺さんが当選をされたということで、県内で3人目の女性首長となりますが、金子市長の受けとめと、諏訪広域の連携をについてお考えをお願いします。

(市長)
女性の首長の誕生敬意を表し、6市町村で大いに力を合わせて協力したいと思っています。今現在、長野県に77市町村ある中の、2自治体の女性首長が諏訪地域ということで、先進的な意識が表れているとすれば、大いにアピールしたい。

○公の施設指定管理者選定について
(記者)

霧ヶ峰の施設の指定管理者候補者について、スキー場は一般社団法人霧ヶ峰 Act、キャンプ場は株式会社アポルタということですが、現在の期待は？

(市長)
議会承認案件ですのでこの9月の議会に上程をします。
両者とも地元の若い経営者・事業者だと聞いていますし、意欲的に参加していただいています。
議会の承認をお願いしたいと思います。

○湖周地区一般廃棄物最終処分場候補地の応募について
(記者)

ごみの最終処分場の選定委員会における、応募はあったか？

(市長)
31日が締切で、まだ、私の手元には届いていません。締切を待って、次のステップに進もうと

思っています。詳細については副市長から説明します。

（副市長）

応募の締切は8月31日ですが、22日の1回目選定委員会においては、応募があることを期待した上で、応募があった際、どういう基準で選定をしていくのか、そのルール決めを行います。応募があったことを受けて、9月以降の選定委員会の段取りが決められていきますので、1回目の委員会は、選定をするルール決めをしたいというふうに思っています。

（記者）

期間内に応募がなかった場合はどう対応するか。

（副市長）

応募がなかったことを踏まえて、検討委員会の中で、その後の対応を決めていきたいと思っています。

（記者）

候補地がない中で検討を重ねても、決定に至らないのでは。

（副市長）

これまでに市有地の検討をしまいましたが、公募の要件に照らし、市有地を断念しました。応募がないということになれば、公募の要件そのものを見直していく必要があると思っています。それは31日をもってして、見直したいと思っています。湖周行政事務組合への報告も必要ですので、そこを踏まえて、その先の段取りを、改めて見なおしていきたいと思っています。

（記者）

候補地になり得るような土地があると聞いていますが、その土地は候補地となり得るのか。

（市長）

民有地で、問い合わせがあったということは承知しています。そこが正式に応募してくるかどうかについては、最終日まで待たないとわかりません。その結果がわかったところで、応募がなかった場合、応募がなかったこと、これからどうするかということは、湖周事務組合の案件ですから、湖周事務組合にまずお諮りをして、そしてその次のステップが動き出すということになるかと思います。

（記者）

その問い合わせのあった土地は、候補地になりうるというふうに見ていいですか、それともその可能性は低いというふうに見ていいですか。

（市長）

環境への配慮や地形の問題などその項目が検討委員会の中で決められていて、それに適合しなければ候補地とならないという基準があるので、応募があったところで、そこに照らし合わせて、そのハードルをクリアする土地かどうかというのは、選定委員会で決まってきます。ですから、まずは応募を締め切って、そして判断をするという現状です。

(記者)

わかりました。問い合わせのあった土地を、候補地とし得るためにですね、その基準を多少調整するということは考えられるということですか。

(市長)

それは、行政としてはありません。

(総務部長)

以上をもちまして、8月の市長定例記者会見を終了します。
どうもありがとうございました。